

# 「HAKODATEコンシェルジュ養成プログラム」 の概要

北海道教育大学函館校  
准教授 佐藤 香織

北海道教育大学函館校地域協働推進センター人材養成部門では、専攻・グループの垣根を超えた人材養成プログラムである「HAKODATEコンシェルジュ養成プログラム」(以下、「函プロ」)を2018年度から実施している。「函プロ」は、道南地域の観光や教育の面に焦点を絞り、「地域に関する深い知識」「地域の潜在的な魅力を見つけ出す能力」「地域の魅力を情報発信する能力」等を育成するプログラムであり、「地域のコンシェルジュ」として地域のニーズにきめ細かく対応できる人材の養成を行っている。

本プログラムを修了するには、指定された科目の中から21単位分を取得する必要がある。そのうち10単位程度は、本学を通常卒業する際に必要とされる科目のうち、本プログラムの趣旨にあう科目(認定科目)の中から取得することができる。残り10単位程度は、本プログラムを受講する学生に対して開講される科目(専用科目)の中から取得する必要がある。専用科目としては、「ソーシャルクリニックと地域」「地域づくり支援実習」「観光コンシェルジュ実習」などがあり、地域課題を発見し、課題解決のための実践を行う科目が多数設置されていることに特色がある。これら所定の単位を履修した学生には、卒業時に「HAKODATEコンシェルジュ養成プログラム履修証明書」が発行される。

「函プロ」は毎年20～30人の学生が履修しているが、学生からは「観光学や地域学だけで

なく、統計学や自然科学、異文化理解や教育など、幅広い分野を学ぶことができている。」「文理の隔てない知識に裏打ちされた広い視野で考える力を得られることと、学びに熱心な仲間と専攻の垣根を越えて出会えることが魅力である。」「学期が終わるたびに自分の視野が広がるを感じる。」など、好評価を得ている。

2021年度は「函プロ」履修学生が卒業を迎える最初の年度となる。地域社会に貢献する人材として活躍することを期待しつつ、プログラムの一層の充実を図っていきたい。